

第72期中間報告書 2020年4月1日—2020年9月30日

DAIHO REPORT

72

 大豊建設株式会社

証券コード：1822

トップメッセージ



株主・投資家の皆様には平素より格別のご支援とご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

第72期上半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の営業概況等について別項のとおりご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

代表取締役 執行役員社長

大陽健一

上半期の事業について

当上半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の減少や雇用情勢に弱い動きがみられるなど、依然として厳しい状況にありました。

このような状況の中、当社グループの主要事業であります建設事業におきましては、公共投資は堅調に推移しましたが、民間設備投資は新型コロナウイルス感染症の影響による先行きの不透明感から前年に比べ低位な水準で推移しました。

新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、現在のところ、受注・工事の両面において軽微であることから、通期の業績予想を見直すような状況には至っておりません。

しかしながら、各業界に相当な影響を与えているものとして、受注環境の変化に注意を払いつつ、業績予想の変更が必要となれば、速やかに開示する所存でございます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響は、中長期的には今の社会形態を大きく変える可能性があり、当社もその変化に対応すべく取り組んでまいります。

中期経営計画の進捗について

今年5月に発表しました中期経営計画では、成長戦略の基本方針として①既存事業の強化、②新事業への対応、③将来への種まき、を掲げています。このうち、既存事業の強化として、得意技術を生かした「防災・減災事業」には特に力を入れて取り組んでおります。

この半期では、兵庫県において河川地下貯留管整備工事を受注いたしました。本工事は豪雨時に氾濫が懸念される既設河川のバイパス河川を地下に構築し、洪水を未然に防ぐ目的で、立坑をニューマチックケーソン工法、横坑をシールド工法と当社が得意とする工法で施工するものです。同様の工事は既に福岡県において施工実績があり、この7月の九州豪雨の際に、その効果を十分に発揮したとの話を伺っています。

今後、同様の対策工事が全国的に広がれば、当社が得意技術を発揮できる機会が増えるものと期待しております。

新事業への対応についてですが、土木事業における老朽インフラでの維持修繕工事として、秋田県的高速道路橋、東京日本橋水門のいずれも耐震補強工事を受注しております。

また、建築事業におきましては、三菱地所(株)様、(株)竹中工務店様を含む複数の企業と、国内木材の建築への有効活用を目的として合同で新会社、MEC Industry(株)を設立し、その新会社から木材加工工場を受注しております。

今後の展開について

コロナ禍で、活動が制限される中、成長戦略の実行が思うように進捗していないことは否めませんが、外部環境の変化も捉えつつ、中期経営計画を確実に実行していくことが重要であると考えています。10年後を見据えた計画ですので、そのスタートの3年間という位置づけをもって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

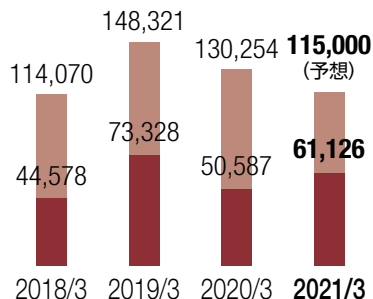
連結財務ハイライト

POINT

受注高(単体)、売上高ともに国内の土木工事、建築工事が順調に進捗しました。

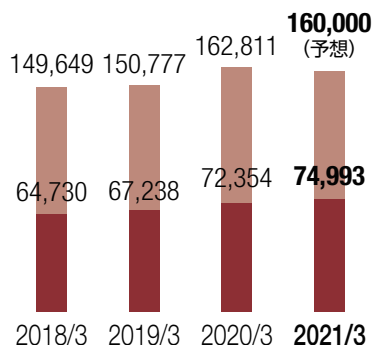
受注高(単体) (百万円)

■ 上半期
■ 通期



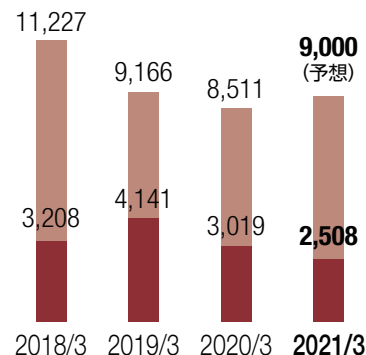
売上高(百万円)

■ 上半期
■ 通期



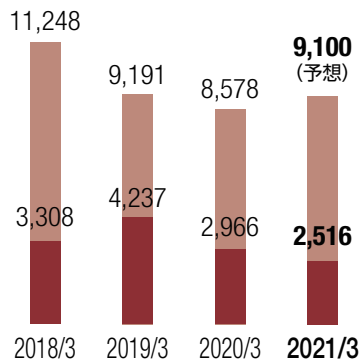
営業利益(百万円)

■ 上半期
■ 通期



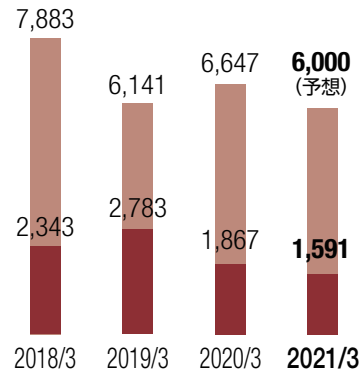
経常利益(百万円)

■ 上半期
■ 通期

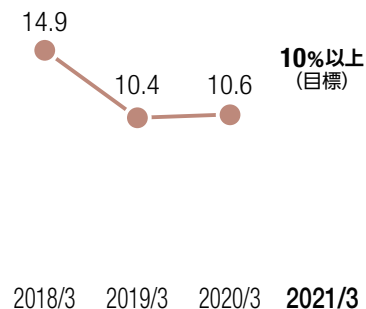


親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益(百万円)

■ 上半期
■ 通期



ROE (%)



中期経営計画

当社は創業以来一貫して技術力を第一に考え、目に見えないところで社会を支えるインフラの建設に邁進してきました。創立70年を迎えた今、100年企業を目指し、これまで培ってきた「信頼に応える確かな技術」をモットーに、今後も人々の暮らしを支える企業として成長してまいります。

■外部環境の背景

1 自然災害の増加

近年、集中豪雨が続き雨水処理能力が追いついていない。そのため雨水貯留施設の増設が必要となっている。

2 人口減少社会の到来

人口減少社会に対し、事業方針を明確化し、公共事業形態の変革の対応が必要となってくる。

■2020-22年中期経営計画戦略

100年企業を目指す大豊建設の事業と利益の基盤づくり



既存事業を伸ばす

- 防災・減災事業の拡充
ニューマチックケーソン工事
シールド工事
- 非住宅事業の強化
物流施設・工場・公共建築物

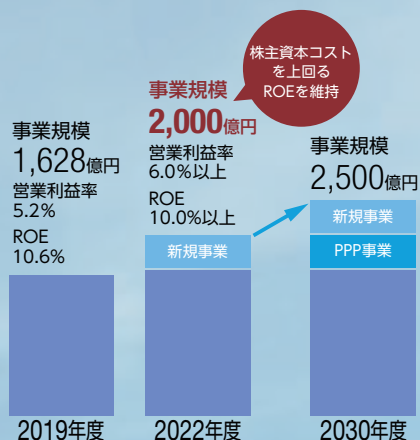
新たな事業を育てる

- 新事業への対応
維持修繕事業、首都圏事業の強化
CLT事業・不動産事業

新事業の種をまく

- PPP事業への取り組み
金融機関との連携
専門技術コンサルタント技術

■2022年に目指す姿・数値目標

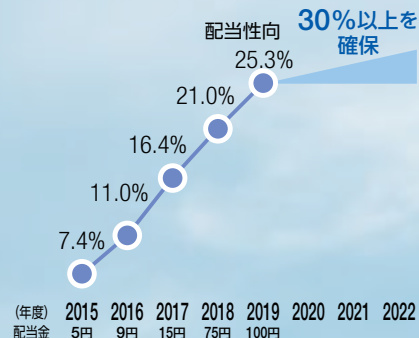


株主資本コストを上回るROEを維持



連結配当性向 30%以上を確保

自己株式取得 成長投資の進捗を考慮し、臨機応変に実施



Point ①

2022年度には**新事業**が追加、
2030年度には**PPP事業**が追加

Point ②

主に**4つ**の項目に
戦略投資する

Point ③

2020年度より
30%以上確保

■伝統を守るための革新

100年企業に向けて、人と技術と

風通しが良い社内環境をつくり、社員一人ひとりの働きがいに寄り添います

新規事業への参入



受注・完成工事

主な完成工事



土木

工 事 件 名 R1荒川右岸東砂六丁目高潮堤防耐震補強工事
発 注 者 国土交通省 関東地方整備局



土木

工 事 件 名 令和元年度筑後川下流右岸農地防災事業諸富線(下西)工事
発 注 者 農林水産省 九州農政局



建築

工 事 件 名 宇都宮市新中間処理施設(仮称)新北清掃センター建設工事
発 注 者 宇都宮市



建築

工 事 件 名
(仮称)秋葉原ホテル新築工事

発 注 者
(株)フージャースコーポレーション

主な受注工事

土木

工 事 件 名 秋田自動車道 岩見川橋耐震補強工事
発 注 者 東日本高速道路(株)

土木

工 事 件 名 大規模河 第1001-0-001号(二)東川水系津門川 地下貯留管他整備工事
発 注 者 兵庫県

建築

工 事 件 名 (仮称)府中八幡町計画新築工事
発 注 者 住友不動産(株)

建築

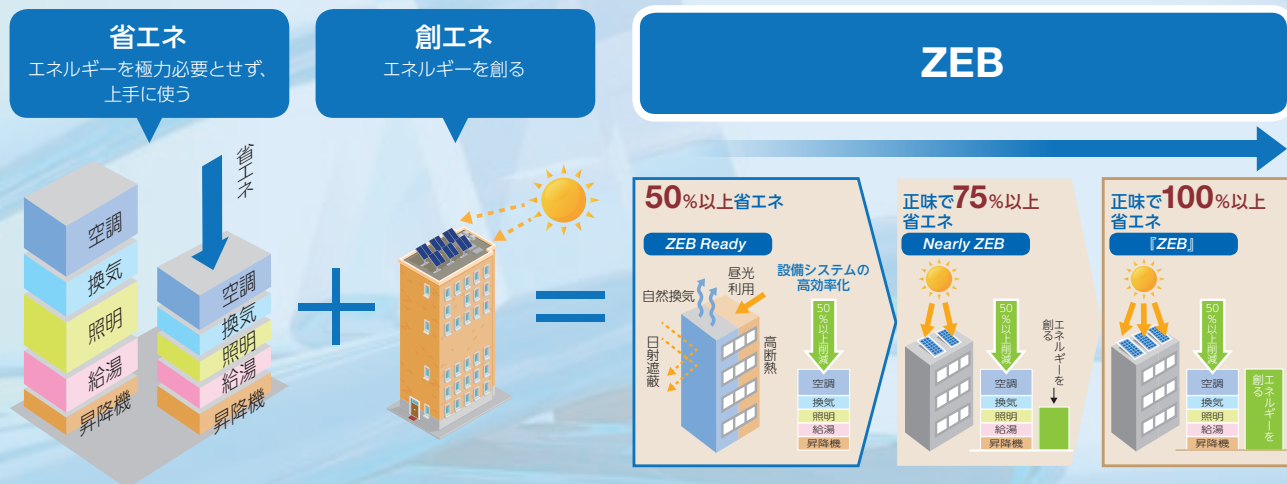
工 事 件 名 浜松(2)整備場新設等建築その他工事
発 注 者 防衛省 南関東防衛局

～100年企業を目指して～ サステナブル社会の 実現に向けた取り組み

当社は、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、環境に配慮した技術の開発・建物の運用に取り組んでいます。
今後も企業価値の向上を目指すとともに人々の安全安心な社会に貢献してまいります。

ZEBとは

Net Zero Energy Building の略称で、建物の運用段階でのエネルギー消費量を省エネや再生可能エネルギーの利用を通して削減し、限りなくゼロにするという考え方で。



技術研究所を開設



2020年3月に技術研究所を開設しました。この技術研究所の建設にあたり、外壁や窓の断熱化・庇による日射遮断・全熱交換器による冷暖房負荷の削減・LED照明の採用などにより、設計一次エネルギー54%を削減しました。

それに伴い、BELS評価認証^{*1}を受け、ZEB Readyを取得しました。



*1 BELS評価認証：空調機や照明器具などのエネルギー性能を評価し、認証する制度。性能に応じて5段階で星(★)で表示される。

ZEBプランナー^{*2}を取得

一般社団法人 環境共創イニシアチブが公募する「ZEBプランナー」に申請し、登録されました。

これにより当社はZEBの導入を検討している建築主の相談窓口となり、プランニングや支援業務により、脱炭素社会の実現を目指します。



*2 ZEBプランナー：ZEB実現に向けた相談窓口を有し、業務支援を行い、その活動を公表する事業者。

会社概要 / 株式情報 (2020年9月30日現在)

■会社概要

商号	大豊建設株式会社
設立	1949年3月31日
資本金	9,039,773,154円
従業員	1,046名
本社	東京都中央区新川一丁目24番4号

■許可

特定建設業許可	許可番号 許可年月日	国土交通大臣(特-29)第2520号 平成29年12月20日
一級建築士事務所登録	登録番号	東京都知事登録 第966号 大阪府知事登録(支)第4971号
宅地建物取引業者免許	免許証番号	東京都知事登録(13)第23310号
建設コンサルタント登録	登録番号	国土交通大臣登録(建-31)第5186号
採石業者登録	登録番号	東京都採石登録 第91号
土壌汚染法に基づく調査機関の指定	指定番号	2003-3-1046
ISO 9001	登録番号	RQ0159(海外における事業は除く)
ISO 14001	登録番号	RE0180(海外における事業は除く)

■役員

代表取締役執行役員社長	大 隅 健 一
代表取締役執行役員副社長	多 田 二三男
代表取締役執行役員副社長	中 杉 正 伸
取締役専務執行役員	森 下 覚 恵
取締役専務執行役員	永 田 修 一
社外取締役	川 口 哲 郎
社外取締役	垣 鍔 公 良
社外取締役	町 野 静

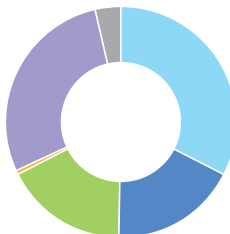
■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 その他の予め公告する一定の日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (インターネットホームページ)	☎ 0120-782-031 https://www.smb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社ホームページ(https://www.daiho.co.jp/)に掲載
上場証券取引所	東京証券取引所

■株式の状況

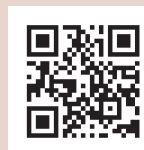
発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	17,442,028株
株主数	5,655名

■所有者別状況



金融機関	32.75%
その他国内法人	17.69%
個人・その他	17.20%
証券会社	0.66%
外国人	28.18%
自己名義株式	3.52%

■HPのご案内



当社ホームページでは、会社案内、IR情報、実績紹介、採用情報など様々な情報を掲載しております。

<https://www.daiho.co.jp/>

表紙写真について

工事件名：石巻市石巻中央排水ポンプ場他1施設
復興建設工事その2

発注者：日本下水道事業団

共同企業体名：清水・大豊・遠藤興業特定建設共同企業体

工 法：ニューマチックケーソン工法



 **大豊建設株式会社**

UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

